

# まちづくり交付金 フォローアップ報告書

## 神岡地区

平成22年4月

秋田県大仙市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	下川原地区の定住人口	人	0	200	53	確定 見込み	△	あり なし	53	H21年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	関連事業の「高齢者生活支援ハウス」の事業中止に伴い、目標値の達成は不可能であるが、宅地造成により下川原地区の人口は増加しており、神岡地区全体においても人口減少抑制に寄与している。
指標2	中央公園利用満足度	%	16.6	33.2	61.5	確定 見込み	○	あり なし	62.3	H21年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	参考として調査した「中央公園の整備について」の満足度においても、79.5%と非常に高い満足度を得ている。
指標3	中央公園利用者数	人/年	0	28,000	34,735	確定 見込み	○	あり なし	50,055	H21年10月	○	期待以上の住民の利用があった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	芝生広場の供用開始に伴い、目標値を大きく上回る結果となった。公園の周辺施設(幼児一体施設など)の利用の相乗効果も見られる。
指標4	神宮寺駅舎等年間利用者数	人/年	231,775	256,960	224,670	確定 見込み	△	あり なし	223,990	H21年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	少子化の影響により目標値を達成できなかったが、駅周辺整備により利用満足度は高い評価を得ている。
指標5	神宮寺駅利用者満足度	%	20.0	50.0	82.0	確定 見込み	○	あり なし	81.7	H21年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅利用者の非常に高い満足度を得ている。「地域交流センター」の情報発信機能を持つ、階段踊り場のまちの紹介コーナーなどにより、利用者のまちづくりや地域活性化への関心度が高まるといった効果も得ている。
指標6	地区内人口の減少率	%	-5	-2.5	-2.4	確定 見込み	○	あり なし	-2.4	H21年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	各種事業実施により良好な居住環境が形成され、地区内人口の減少を大きく抑制することができた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	中央公園の利用者維持・増加と周辺施設との相乗効果	芝生広場の供用開始	芝生広場の整備満足度は72.1%と高い評価を得ている。	・芝生広場を含めた維持管理 ・イベントや周辺施設との更なる連携強化
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	住宅分譲の販売戦略	住宅分譲PR	下川原地区の人口増加に寄与している。	・完売に向け、地区の魅力のPRの続行
	高齢者福祉施策			・民間活力を含めた施策も視野に入れて、今後も当該地区のありかたについて引き続き検討していく
	既存幼稚園の跡地活用			・今後も跡地活用について、区内だけでなく大仙市内全体での位置づけも含め引き続き検討していく

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・核①「JR神宮寺駅を中心とした周辺エリア」における拠点性の強化	・住民のまちづくりへの機運を逃さず、駅舎や駅前広場を活用した地域PRを実施する。	22年度	・開催可能なイベントの内容の精査と官民協働による実施。

都市再生整備計画(精算報告)

神岡地区

秋田県 大仙市(旧神岡町)

平成22年4月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	秋田県	市町村名	だいせんし きのみおかまち 大仙市(旧神岡町)	地区名	かみおがく 神岡地区	面積	207 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

### 目標

大目標：2核の地域交流拠点の創造と、コンパクトな町の特性を活かした良好な居住環境の形成

- 目標① 来訪者との交流の場(駅周辺)、市民生活の交流の場(文教ゾーン)となる二つの核づくりにより中心市街地に賑わいを創出し地域の活性化を図る
- 目標② 豊かな自然を活かした水と緑のネットワークを構築するとともに、多様なニーズに対応した優良で安価な住宅づくりを推進し、人口の定着を図る
- 目標③ 神宮寺バイパスからのアクセス道路の整備と、歩行者に優しい安全で楽しい回遊性のあるまちづくりにより来訪者の誘導を行い、地区の空洞化を防止する。

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・旧神岡町は秋田県南部に位置し、圏域中心地である旧大曲市と隣接している。人口は平成16年4月1日現在6,130人で、他の地方都市同様減少を続けているが、高速交通体系や自然環境などの恵まれた立地条件によりその減少傾向は緩やかであり、核家族化により世帯数(平成16年4月1日現在1,835世帯)は増加傾向を示している。また高齢化が進展している一方、若年層の人口に対する割合も比較的高く(県内で4番目)、お年寄りと子育て世代に住みよい住環境の提供が求められている。
- ・旧神岡町の基幹産業は稲作を中心とした農業であり、特産品は農産物やその加工品が主であるが、昨今の農業情勢から来る農家経営の困難さから、就業人口は減少の一途をたどっており、他産業との連携による多角的な経営が求められている。
- ・神岡地区は、旧神岡町の中心市街地である神宮寺駅を中心とした半径約1km圏内で主要公共施設等が集積している、旧神岡町の行政、文化、経済等、市民活動の中心となる地区である。
- ・旧神岡町では旧大曲市や秋田市への通勤通学者が多く、地価が旧大曲市の約1/4から1/2と安価であることから、ベッドタウンとしての開発ポテンシャルも高い地区であるが、これまで計画的な住宅団地等の整備は行っていないため、無秩序な開発が進行しつつあり、特に神岡地区西部の下川原地区では早急な対応が求められている。また、公営住宅や、市内の民間賃貸住宅も常時満室の状態となっていることから、道路、公園、上下水道等の生活基盤の整った低層戸建ての良好な住宅地の供給が必要とされている。
- ・旧神岡町は平成8年に都市計画区域の指定を受け、将来のあるべき姿について住民参加の下、数年間の議論を経て平成14年に都市計画マスタープランの策定をしている。この間、平成10年には国道13号の神宮寺バイパスが都市計画決定後事業化されたが、計画決定に際してはバイパスが通ることにより既存市街地内の交通量が減少し、渋滞の解消や騒音、交通事故の減少による住環境の向上といったメリットと、通過交通の減少による市街地の空洞化や地域経済への影響が懸念されていた。
- ・旧神岡町の特産物としては、全国的にも有名な刈穂、福の友といった酒造や醸造蔵の他、基幹産業が農業であることから農産物やその加工品が挙げられるが、これらの販売促進と地域情報の発信を目的として平成8年「道の駅かみおか」がオープンし、さらに平成9年には地産地消と都市と農村との交流を目的としてかみおか温泉「嶽の湯」がオープンしている。また、マスタープランの策定と並行して、平成12年、13年度には旧神岡町商工会が中心となって経済産業省の補助を得て「地域振興活性化事業」を実施し、総勢150名余りの住民参加の下、さらなる地域資源の掘り起こしと活用策について、具体の検証を行った。この中では特産品の開発やグリーンツーリズムを含む観光ルートの開発とそれを紹介する市民ガイドの養成など様々な試みを行っている。
- ・上記のような取り組みにより旧神岡町の知名度が高まり、酒蔵見学や地域観光資源を目的に来訪希望者が増えつつあるものの、市街地内にはこの受け皿となる施設がないため、酒造や醸造品、また「地域振興活性化事業」で開発した特産品等を活用した、情報発信・ふれあい施設の整備が望まれている。
- ・このような状況の解決を図るため、平成14年度にまちづくり総合支援事業導入の検討(予備調査)を実施し、旧神岡町都市計画マスタープランや大曲都市計画区域マスタープランより神岡地区のまちづくり目標の整理を行なった。また平成15年度には、住民、有識者、民間企業(地元企業・JR)、県、国(国土交通省)、関係課の総勢17名によるまちづくり推進協議会(平成15年度は5回実施で、今後も継続開催予定)を立上げ、予備調査で策定した内容(まちづくりの目標および事業内容)についての議論を行ない、整備方針についての賛同が得られている。さらに平成16年4月には、地域住民に対して本事業への賛否を問うアンケート調査を実施し、66.4%の賛同を得ている。

### 課題

- ・人口の定着を図るため、高齢者、子育て世代が住みやすい安価で良好な居住環境を形成する必要がある
- ・国道13号バイパス(神宮寺バイパス)の開通によるストロー現象を防止するため、魅力ある市街地の整備を図り、加えてアクセス道路の整備による交通(観光客)の流入を図る必要がある
- ・市の特産品や地域資源を活用した地域交流拠点を、老朽化した駅舎改築にあわせ整備し、周辺商店街と連携を取った地域振興を図る必要がある
- ・スポーツやイベント等、地域住民の余暇活動を幅広くサポートできるよう、現在スポーツ文教施設が集積している下川原地区に公園を配置し、地域交流の相乗効果を図る必要がある

将来ビジョン(中長期)

神岡地区のまちづくりのキャッチフレーズ:『お年寄りと子育て世代が住みやすいコンパクトで安全なまちづくり』

- ・旧神岡町の第2次総合発展計画において、快適な生活が営めるよう居住環境(基盤整備)と温泉保養施設、地理的条件を活かした宅地造成、住宅整備を図ると位置付けられている。また、生きがいのある福祉のまちづくりを進めるため、核家族の進行による介護能力低下に対応した福祉の充実、女性の就労の増大に対応した保育施設の条件整備を図ると位置付けられている。
- ・旧神岡町都市計画マスタープランにおいて、当地区は市街地ゾーンに位置づけられており、駅周辺は中心市街地の拠点として交通の円滑化や周辺商店街の活性化を図り旧神岡町の玄関口としての機能を充実させるとなっており、地区西部の下川原地区は市街化促進地区として、住宅地開発による人口定着を図るとともに、市民の交流と余暇活動の中心拠点として公園・レクリエーション施設の整備を図ると位置づけられている。
- ・旧神岡町は旧大曲市他7か町村との市町村合併(平成17年度)により大仙市となっているが、大曲都市計画区域マスタープランにおいても、当地区は旧神岡町の顔となる駅周辺の生活拠点整備、神岡地区西部周辺の居住環境の形成・レクリエーション拠点の整備、市内の都市内骨格道路の形成等を図る地区として位置付けられている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
下川原地区の定住人口	人	一般宅地開発分+高齢者生活支援ハウスの居住人口	良好な居住環境の形成による人口定着	0	H16	200	H20
中央公園利用満足度	%	アンケートによる満足度(従前は都市マスアンケート)	交流拠点整備による地域交流の促進	16.6	H16	33.2	H20
中央公園利用者数	人/年	中央公園年間利用者数	交流拠点整備による地域交流の促進	0	H16	26,000	H20
神宮寺駅舎等年間利用者数	人/年	神宮寺駅舎+民間施設「福乃友の蔵」の年間利用者数	良好な居住環境形成による人口定着、および駅を中心とした交流拠点整備による地域交流促進	231,775(駅乗降客数)	H15	256,960	H20
神宮寺駅利用者満足度	%	アンケートによる満足度(従前は事業前アンケート)	良好な居住環境形成による人口定着、および駅を中心とした交流拠点整備による地域交流促進	20	H19	50.0	H20
地区内人口の減少率	%	事業実施前5年間の減少率と事業実施後5年間の減少率	良好な居住環境の形成による人口定着	-5.0	H15	-2.5	H20

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1（二つの核づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公園は下川原周辺の既存施設（市営体育館、嶽の湯等）にない機能を持たせた多様なニーズに対応した整備を行なうことで、地域交流の強化を図るとともに、各施設利用の相乗効果を図る。</li> <li>来訪者の活動拠点としての機能を持つ民間施設「福乃友の蔵」と神宮寺駅舎、地域生活基盤としての駅前交流広場、北口交通広場、また道路事業として神宮寺バイパスからのアクセス道路を整備することにより、駅利用者の交通機能強化と交流機能強化を図ることは基より、中心市街地にぎわいを取り戻し、地域の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中央公園（基幹事業）</li> <li>②神宮寺駅舎（提案事業・関連事業）</li> <li>③駅前交流広場、北口交通広場（基幹事業）</li> <li>④駅北線（基幹事業）</li> <li>⑤公園案内板（基幹事業）</li> </ul>
<p>整備方針2（人口の定着）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街化促進地区として位置づけられている地区西部の下川原地区に安価で良好な居住環境の整備を図るとともに、幼稚園保育園一体施設や高齢者生活支援ハウスの整備を行なうことで、お年寄りから子育て世代が住みやすい環境を提供し、人口定着を図る。</li> <li>公園事業により整備する中央公園、幼稚園保育園一体施設などの公共公益施設を集積することで住む人の利便性を向上させ、相乗効果を図る。</li> <li>地方特定河川等環境整備事業により整備された中川原コミュニティ公園や観光交流空間づくりモデル事業により予定されている雄物川を活用したカヌー発着場と、中央公園等の公園を拠点として整備することにより、緑と水のネットワークを構築し、潤いのある良好な居住環境の形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①下川原1～3号線（基幹事業）</li> <li>②中央公園（基幹事業）、下川原街区公園および緑道（基幹事業）</li> <li>③公園案内板（基幹事業）</li> <li>④下川原地区宅地開発（提案事業・関連事業、市）</li> <li>⑤幼稚園保育園一体施設（提案・関連事業、市）</li> <li>⑥高齢者生活支援ハウス（提案・関連事業、市）</li> <li>⑦地方特定河川等整備事業（関連事業、市）</li> <li>⑧公共下水道第1次認可事業（関連事業、市）</li> </ul>
<p>整備方針3（空洞化の防止）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイパスからの来訪者を既成市街地内へ呼び込むためアクセス道路の整備をするとともに、観光案内板を整備して地域交流拠点へ来訪者を誘導することで、地域活力の空洞化を防ぐ。</li> <li>歩行者が安心して歩行できる道路整備をするとともに、訪れた観光客が、神宮寺駅から「福乃友の蔵」および下川原文教プラザを中心として地域資源を訪ねながら回遊できるまちづくりを行うため、情報案内板の整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大坪線（基幹事業）、駅北線（基幹事業）、下川原1号～3号線（基幹事業）</li> <li>②観光案内板（基幹事業）</li> <li>③神宮寺バイパス整備事業（関連事業、国）</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 当地区では、平成15年度に発足したまちづくり推進協議会を今後も継続的に開催する。また、旧神岡町商工会が中心となって「地域振興活性化事業」により特産品の開発やグリーンツーリズムを含む観光ルートの開発とそれを紹介する町民ガイドの養成など様々な試みを行っていることから、こうした団体とも連携し、地域交流・地域活性を図る。</li> <li>○イベントの市民参加を図るための方策について 神宮寺駅舎や中央公園の整備にあわせて、地域交流を図るためのイベントについて、まちづくり推進協議会や商工会との連携により具体化するための方策を検討する。また、市のホームページを利用するなどして、市民より意見等を集約する。</li> <li>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、まちづくり推進協議会を今後も継続的に開催し、毎年、事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うためのモニタリングを実施する。その結果については、随時、市民に情報公開する。</li> </ul>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,815	交付限度額	726	国費率	0.40
---------	-------	-------	-----	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
						平成17年度	平成17年度	平成17年度	平成17年度					
道路		大坪線	大仙市	直	W=16m、L=220m	平成17年度	平成17年度	平成17年度	平成17年度	20	20	20	0	20
		駅北線	大仙市	直	W=9.5m、L=370m	平成16年度	平成20年度	平成16年度	平成20年度	116	116	116	0	116
		下川原1号線	大仙市	直	W=10m、L=282m	平成16年度	平成18年度	平成16年度	平成18年度	92	92	92	0	92
		下川原2号線	大仙市	直	W=7.5m、L=420m	平成16年度	平成18年度	平成16年度	平成18年度	71	71	71	0	71
		下川原3号線	大仙市	直	W=7.5m、L=406m	平成16年度	平成18年度	平成16年度	平成18年度	74	74	74	0	74
公園		中央公園	大仙市	直	A=28,100㎡	平成16年度	平成20年度	平成16年度	平成20年度	805	805	805	0	805
		下川原街区公園および緑道	大仙市	直	A=1,820㎡	平成17年度	平成18年度	平成17年度	平成18年度	26	26	26	0	26
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		—	大仙市	直	—	平成16年度	平成20年度	平成16年度	平成20年度	153	153	153	0	153
高質空間形成施設		—												
高次都市施設		—												
既存建造物活用事業		—												
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
		拠点開発型												
		沿道等整備型												
		密集住宅市街地整備型												
		耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,357	1,357	1,357	0	1,357

…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
						平成16年度	平成20年度	平成16年度	平成20年度					
地域創造支援事業		教育施設整備	大仙市	直	A=12,000㎡	平成16年度	平成20年度	平成16年度	平成20年度	182	182	182	0	182
		福祉施設整備	大仙市	直	A=8,000㎡	平成16年度	平成20年度	平成16年度	平成20年度		61	61	0	61
		宅地整備	大仙市	直	A=15,200㎡	平成16年度	平成18年度	平成16年度	平成18年度	116	116	116	0	116
		駅舎移転改築	大仙市	直	A=159㎡	平成19年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度	91	91	91	0	91
事業活用調査		事業効果分析	大仙市	直		平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	6	6	6	0	6
まちづくり活動推進事業		事業モニタリング	大仙市	直	年5回程度	平成16年度	平成19年度	平成16年度	平成19年度	2	2	2	0	2
合計										397	458	458	0	458

…B

合計(A+B) 1,815

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
					○	○	○	○			
道路事業	神宮寺バイパス整備事業	国土交通省	国土交通省	9.6km	○				H10		
地方特定河川等環境整備事業	雄物川右岸河川敷	大仙市	国土交通省・総務省	—		○			H15	H16	605
幼稚園保育園一体施設整備事業	幼稚園保育園一体施設整備事業	大仙市	厚生労働省・文部科学省	1.0ha		○			H17	H19	454
宅地造成事業	下川原地区宅地造成事業	大仙市		A=12,300㎡			○		H18	H19	89
神宮寺駅舎整備事業	神宮寺駅舎(JR負担)	JR東日本		A=15㎡				○	H19	H19	6